

ウェルビーイング in アジア実現のための女性リーダー育成プログラム

<公開特別セミナー>

日時：平成26年5月8日（木）10時30分～12時

場所：理農館 セミナー室SA329（理農館3階）

演題：“How to handle your career and get more women to the top”

演者：Kajsa Widén 氏（ルンド大学男女共同参画担当長）

Inger Lövkrona 氏（ルンド大学名誉教授〈民俗学〉）

平成26年5月8日（木）に公開特別セミナーが東山キャンパス理農館にて開催されました。講師にルンド大学男女共同参画担当長 Kajsa Widén 氏 およびルンド大学名誉教授（民俗学）Inger Lövkrona 氏をお迎えし、“How to handle your career and get more women to the top” 「キャリア形成と女性リーダー創出」について講義していただきました。セミナーには研究アシスタントだけでなく学外の方や一般の方も含めて合計37名の方にお越しいただきました。「ジェンダー理解」「女性とリーダーシップ」「多様性」についての視点や考え方を、名古屋大学の例を具体的に挙げながらわかりやすく講義していただきました。男女共同参画の意識が高いスウェーデンからお招きした先生方の視点は、日本にいる私たちにとって新鮮で興味深いものでした。セミナー終了後は、講義中に参加者同士でもっと議論する時間があれば、より有意義だったという意見が多く出ていました。



感想・意見

- 女性がリーダーとして活躍していくことに関して、世界と比べて日本はまだ低いレベルにあることを再認識したので、先例になるためにも高水準の教育を受けた私たちのような人間がキャリアを積んでいく必要性を強く感じました。(研究アシスタント、女性)
- セミナーが終わった後には、ジェンダーをテーマとして身の回りの人々と積極的に意見交換してみたいと自然に感じていました。(研究アシスタント、女性)
- 女性のキャリアについて深く考えるよい機会になったと思うので、日本の女性の社会進出は後発的であるという自覚をもち、これから **well-being** プログラムに臨みたいと考えた。(研究アシスタント、男性)
- 日本でも、もっとたくさんの女性リーダーがいて欲しいです。(研究アシスタント、女性)
- ジェンダーギャップについては大変興味深かったので、今後そのような視点を持って周りを見てみるよう意識していこうと思う。(研究アシスタント、男性)